

きもべつ 広報

1

January
2023 / R5
Vol.859



Public Relations of Kimobetsu

特集

令和3年度決算報告・まちづくり懇談会



一年の始まりに

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと思います。さて、皆様は今年一年をどのような年にしたいですか。気持ちを新たにこのタイミングに、伝統的な正月行事である書き初めに挑戦してみたいはいかがでしょうか。今年の目標や抱負、健康や幸福を願う四字熟語などを書くことで、きっとあなたのこの一年を支える助けになるはずです。令和5年が皆様にとってより良い一年になりますことを心からお祈り申し上げます。(写真は令和4年10月「子ども書道教室」の風景です)

町イメージ
キャラクター
ウサパラくん



新年のごあいさつ



喜茂別町長

うちむら
しゅんじ
内村 俊二

新年明けましておめでとございます。

令和五年の年頭にあたり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。昨年は、社会経済活動とコロナの共存を図るべく、町内でも各種行事が三年ぶりに開催されるなど、感染症対策を万全としながら、少しずつこれまでの日常を取り戻す取組みが進められました。

また、昨年は二月にロシアのウクライナ侵攻という先行き不透明な時代を象徴するかのような事態が起こり、今なお、戦禍の終息が見通せない状況にあります。さらには、北朝鮮からの度重なるミサイル発射、中国による南シナ海への進出など、これまでにはない緊迫した状況にあります。

こうした中、食料・エネルギー分野では自給率の向上を図る総合的な安全保障対策が求められています。

本町の基幹産業である農業は、気候変動による気象状況の困難さがありながらも、昨年は概ね出来秋を迎えたところであります。

本年も天候に恵まれ、実りの多い年となることを期待するとともに、一刻も早く世界に平和が訪れることを念願しつつ、町民の皆様にとって、幸多き年となりますことを心から祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



喜茂別町議会議員

くさか
ひろふみ
日下 博文

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナへの侵攻、安倍元総理銃撃事件など歴史に残るような衝撃的なことが次々と起きました。

また、円安や原油価格など物価の高騰もあり、生活面や、経済活動に様々な困難がもたらされました。

一方で、新型コロナウイルス感染症も、三年が過ぎ、ワクチンや治療薬も開発され、少しずつ克服の兆しが見えてきました。

本年はうきぎ年です。

様々な困難から、飛び跳ねて、安寧の日々が訪れることを願ってやみません。

議会におきましても、住民の皆様が安心して住み続けることができる喜茂別町になるようしっかりと取り組んでまいります。

本年が、皆様にとって良い年でありますこと、皆様のご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

喜茂別町功労表彰者の表彰式

12月7日、役場大会議室で、令和4年度喜茂別町功労者表彰状授与式が行われました。今年、功労表彰の自治功労者として1名が受賞しました。



【自治功労者】
富田 記代美様

平成12年5月1日から令和3年11月30日の21年間に、喜茂別消防団女性団員の班長として、地域防災の普及啓発の職務に精励され、住民の安寧秩序の保持に貢献されました。

功労表彰

令和4年度 納税表彰式

納税表彰は、多年にわたり率先して申告納税制度の普及発展に努め納税意識の向上などの功績をあげられた団体又は個人を顕彰するものです。

【団体の活動を通じて納税道義の高揚に功績のあった者】

佐野 隆良 公益社団法人南後志法人会常任理事



左) 南後志地区納税貯蓄組合連合会

理事 中村 富行氏

中) 公益社団法人 南後志法人会
常任理事 佐野 隆良氏

右) 倶知安税務署 署長 妹川 勉氏

第42回全道中学校 英語暗唱大会3位入賞

11月20日に札幌市で行われた全道中学校英語暗唱大会に後志地区代表として喜茂別中学校3年生の菅原瑛大さんが出場しました。瑛大さんは物おしせず堂々とした英語暗唱を披露し、全道各地の代表30人が集まる中、見事3位入賞を果たしました。瑛大さんは「うれしい。努力したかいがあった」と喜び、さらなる英語力の向上に意欲を見せていました。

The 42th All Hokkaido Junior High School
English Recitation Contest
Hokkaido Junior High School English Education Society



歳入

令和3年度

決算報告

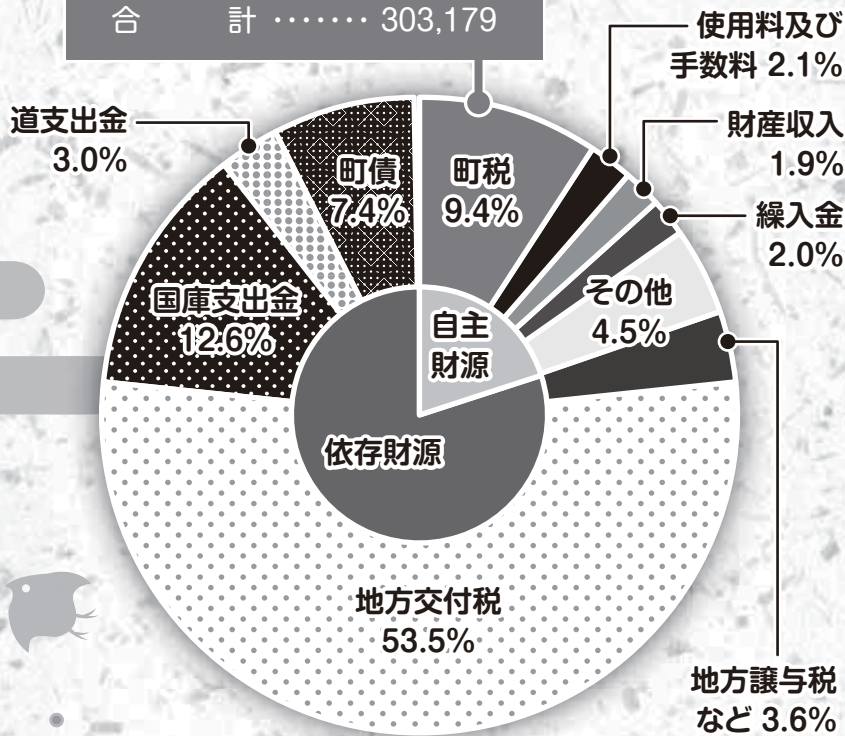
令和3年度の喜茂別町の決算が第4回喜茂別町議会定例会で認定されました。



▶ 32億1,749万7千円

【町税の内訳】 (単位:千円)

町民税	93,713
固定資産税	179,974
軽自動車税	5,558
町たばこ税	23,934
合計	303,179



【一般会計決算 歳入】(単位:千円)

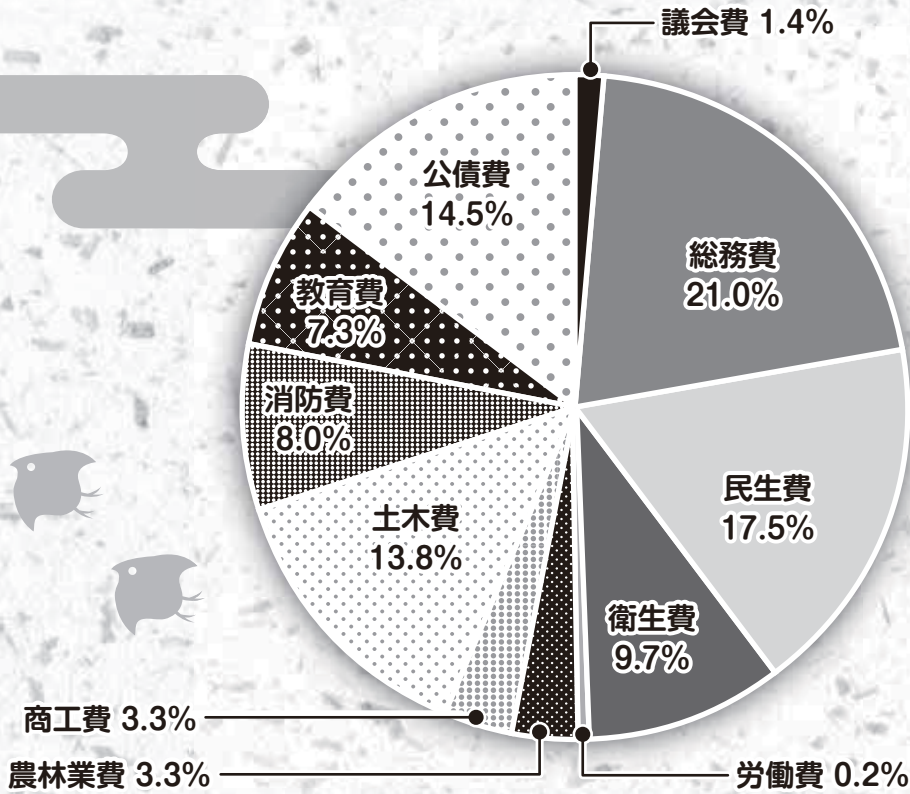
区分	歳入額
町税	303,179
使用料及び手数料	66,099
財産収入	61,106
繰入金	65,919
その他	145,260
地方譲与税など	115,151
地方交付税	1,719,712
国庫支出金	406,443
道支出金	95,282
町債	239,346
歳入合計	3,217,497

まちの貯金(基金) (単位:千円)

基金名	令和2年度	令和3年度	前年比
財政調整基金	320,892	406,342	85,450
減債管理基金	5,268	22,762	17,494
国鉄胆振線代替輸送確保基金	60,631	25,883	△ 34,748
地域福祉基金	12,474	12,474	0
福祉人材育成基金	3,775	2,824	△ 951
水の郷きもべつまちづくり振興基金	23,959	21,960	△ 1,999
公共施設整備基金	51,401	51,402	1
国民健康保険基金	45,486	39,099	△ 6,387
簡易水道施設等整備基金	23,893	27,815	3,922
ふるさと応援基金	68,386	83,448	15,062
交流推進基金	10,003	10,004	1
原子力防災資機材等及び施設整備基金	2,810	4,810	2,000
森林環境譲与税基金積立金	9,066	13,958	4,892
体育施設整備基金	0	10,000	10,000
合計	638,044	732,781	94,737

歳入・歳出 の状況

▶ 31億5,696万6千円



一般会計の歳入総額は32億1,749万7千円で、前年度より、7,803万2千円の増額となりました。増加した要因としては、町民税や固定資産税等の町税や地方交付税の増額が挙げられます。

一般会計の歳出総額は31億5,696万6千円で、前年度より5,544万7千円の増額となりました。増加した要因としては、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業や新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業、また、新型水槽付き消防ポンプ自動車の購入が挙げられます。

予算の執行率は97.9%となっています。

【一般会計決算 歳出 目的別】
(単位:千円)

区分	歳出額
議会費	45,180
総務費	663,171
民生費	551,634
衛生費	308,003
労働費	5,355
農林業費	104,872
商工費	105,401
土木費	434,865
消防費	251,985
教育費	229,373
公債費	457,127
災害復旧費	0
歳出合計	3,156,966

まちの借金(地方債) (単位:千円)

地方債	令和2年度	令和3年度	前年比
財政融資資金	3,273,716	3,210,121	△ 63,595
旧郵政公社資金	98,915	77,038	△ 21,877
地方公共団体金融機構資金	392,829	424,575	31,746
その他金融機関	810,589	731,813	△ 78,776
合計	4,576,049	4,443,547	△ 132,502

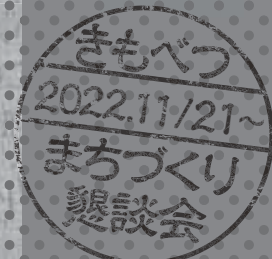
特別会計の決算

令和3年度
決算収入・支出の状況(単位:千円)

会計名	収入		支出済額		差引残高
	収入済額	収入率	支出済額	支出率	
国民健康保険特別会計	77,077	100.7%	74,753	97.7%	2,324
介護サービス事業特別会計	20,500	100.0%	20,500	100.0%	0
後期高齢者医療特別会計	41,802	100.5%	41,450	99.6%	352
簡易水道事業特別会計	294,223	100.6%	290,569	99.3%	3,654
公共下水道事業特別会計	123,708	76.5%	121,268	75.0%	2,440
合計	557,310		548,540		8,770

まちづくり懇談会が開催されました

今年も11月21日(月)～25日(金)の期間中、町内4カ所で開催され、町政に関する説明と町民との意見交換が行われました。



町長 あらわし

開会にあたり3点お話しさせていただきます。

1点目は、物価・燃料費高騰により生活に困っている方への支援についてです。町としては国の補正予算の審議状況なども踏まえながら、国に遅れることなく町民への生活支援対策を的確に行っていきたいと考えております。

2点目は、国道230号線についてです。今回、沿線4町村(喜茂別町・留寿都村・洞爺湖町・豊浦町)から成る国道230号整備促進期成会を立ち上げました。現在、国では国土強靱化対策事業として予算15兆円程度、5か年計画で道路や河川の改修等を進めています。継続的な取組が必要になります。そのうち、国道230号線についての対策を期成会の構成町村と連携しながら進めていきたいと考えております。

3点目は、ゼロカーボンについてです。現在、環境省の交付金を活用して町内公共施設の整備を進めることとしています。燃料費・電気代の掛からないような設備を整え、できる限り経費を抑え、経費削減分で新たな予算の使い道を検討していきたいと考えております。これらについて皆さまからご意見等を伺いながら進めてまいります。

役場からの 報告

全国学力・学習状況調査結果について

町民からの 質問・意見



質問 副町長を置かないことで町長と職員間のコミュニケーション不足による問題が起きないか心配です。副町長は置かないのですか。



回答 財政的に厳しい中で、私が町長に就任してから副町長を置かずにはやってまいりましたが、令和3年度決算では経常収支比率も81.9%(70%～80%が適正範囲)と財政状況が改善してきました。ご指摘のことについては、議会との調整を図りながらできるだけ早く適切な体制を作っていきたいと考えております。



質問 町立クリニックでは、看護師や事務員が足りないと言っています。そのことを町から説明していただきたい。



回答 看護師確保などでは苦労していますが、現在、済生会小樽病院との連携で協力体制が整いつつあります。看護師の派遣など、たぐひのないかもしれませんが検討してまいります。



留産地区管理棟



農村環境改善センター